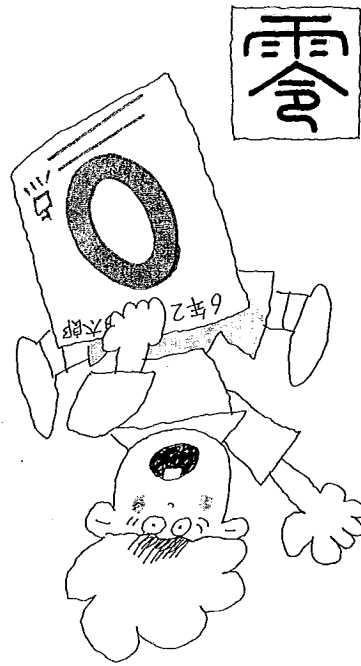


零

レイ

13画 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌

なりたち 令(辞令)は天子から厳肅に下るものである。その下る意味の令と雨との会意形声字で、雨が肅々(しつじつ)と降ることを表したものの。ふること。転じて、落ちること。また、しずく。



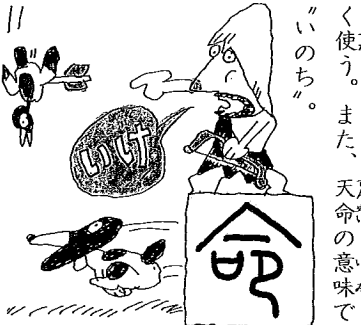
いまとじゆく
▼雨が降る。ふる。
▼落ちる。
▼落ちぶれる。
▼零落：落ちぶれること。用例 零落した家の出。
▼わずか。小さい。
▼零細：きわめて小さいこと。特に規模が非常に小さいこと。例 零細企業
▼ゼロ。
▼零下：零度以下の温度。
よみかた 零時・零点

命

メイ・ミョウ
いのち

3画 ㇀ ㇁ ㇂

なりたち 令と口との会意字。口で直接に下す指図のこと。文書でする指図が令で、口頭でするのが命である。これを合わせて命令というが、今は命も令も区別することなく使う。また、天命の意味で「いのち」。



いまとじゆく
▼言いつける。言いつけ。
▼命令：言いつけること。さしず。
▼命：①官職に任命されること。用例 大蔵大臣を任命する。②つつしんで命令を受けること。
▼名づける。
▼命名：なまえをつけること。
▼天からの命令。めぐりあわせ。

▼いのち。
▼命日：人が死んだ日に当たる。毎月または、毎年のその日。
よみかた 命綱・命巾・革命・致命・使命・寿命・致命的任命・薄命・亡命・余命

今

コン・キン
いま

2画 ㇀ ㇁

4画 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃

なりたち 古い形は今で、屋根の形を表し、現在の「陰」の本字。(日のあたる所を陽、日のあたらぬ所を陰という。)中国では「いま」と「かげ」と同じ発音の言葉だったので代用された。この用法を仮借(かき)という。



いまとじゆく
いま。現在。
▼今更：①今となつては。用例 今更後悔しても仕方がない。
②今、改めて。ことあたらしく。用例 今更ながら感じ入った。
▼今更：今から後。これから先。
▼昨今：このごろ。ちかごろ。

用例 昨今の風潮。
古今：昔と今。例 古今東西
今上：今上天皇の略。
今生：この世に生きている間。この世。用例 今生の別れ。
▼このたび。
▼今回：このたび。
▼今般：「今回」の改まった言い方。
よみかた 今時・今昔・今夕・現今・当今
さんこう 特別なよみかた↓ 今日・今朝・今年

念

ネン

4画 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃

8画 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉

なりたち いま心の中にあらるといふ意味の字で、今と心との会意形声字。心が働いている状態を表した字。「心に思う」こと。特に「深い思い」「注意」の意味にも使われる。



いまとじゆく
▼おもう。おもい。
▼念願：長い間心にかけて願ってきたこと。用例 念願がかなった喜び。
▼信念：堅く信じる心。用例 信念を貫く。
▼残念：思い通りに事が運ばず心残りがすること。くやし
いこと。
▼余念：他の余計な考えこと。
用例 仕事に余念がない。
▼気をつける。注意する。
▼入念：細かい点まで十分に注意すること。念入り。用例 入念に点検する。
▼深く思う。
▼念力：精神を集中させた結果生まれる特殊な能力。
▼唱える。
▼念仏：仏の名を唱えたり祈ったりすること。
よみかた 観念・雑念・執念

今念

今日・今朝・今年